

牛糞と食物残さに由来する堆肥を利用した水稻の栽培法

福島県農業試験場冷害試験地
平成17年度試験成績概要

1 部門名 水稻－水稻－土壌改良・土作り、施肥法
分類コード 01－01－10130000

2 担当者 笹川正樹・小森秀雄

3 要 旨

牛糞と食物残さに由来する堆肥（以下、堆肥という。）とソバフスマを施用した水稻の栽培法を検討した結果、以下の知見を得た。

（1）堆肥100kg/aのみを基肥として施用する区（無化学肥料区）は、化学肥料0.6kg/aを施用する区（慣行区）、堆肥と化学肥料0.4kg/aを施用する区（減化学肥料区）に比べ茎数が劣った。

（2）堆肥とソバフスマ15kg/aを施用する区（ソバフスマ区）は、慣行区、減化学肥料区に比べ茎数は劣ったが、無化学肥料区に比べ6月下旬以降の茎数が優った。

（3）ソバフスマ区の収量は、慣行区には劣るものの無化学肥料区、減化学肥料区より優った。増収要因は1穂粒数、穂数が優ったことによる。

（4）乾燥鶏糞10kg/aの6月中旬追肥は一穂粒数が増加する効果が認められ、慣行区並からやや優る収量が得られた。

（5）以上のことから、牛糞と食物残さ由来の堆肥100kg/aのみを施用する栽培法は窒素不足となって生育が劣り、収量が低下しやすい。そこで、これにソバフスマ15kg/aを追肥して基肥として施用し、乾燥鶏糞10kg/aを6月中旬に追肥する体系が適切であった。

4 その他の資料など